

北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

記者発表資料

発 表 日 時

令和 7 年 10 月 23 日

「令和 7 年度北陸の海と港の技術情報交流会」を開催します

～産学官の技術情報交流～

本交流会は、港湾・空港等のインフラ整備に関する民間企業で開発した新技術や技術開発の現状と動向、北陸管内の大学による研究発表及び当事務所における技術開発動向の共有を図り、産学官の交流を深めるため、毎年開催しています。

今回は、民間企業 7 社、北陸管内の 8 大学及び当事務所から合計 15 題の技術及び研究を発表していただきます。

- 主 催：国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
- 共 催：一般社団法人 日本埋立浚渫協会 北陸支部
- 参加企業：東亜建設工業株式会社、株式会社エコー、いであ株式会社、株式会社本間組、
若築建設株式会社、五洋建設株式会社、ケイコン株式会社
- 参加大学：富山大学、富山県立大学、福井工業大学、福井大学、
金沢工業大学、金沢大学、長岡技術科学大学、新潟大学
- 開催日時：令和 7 年 10 月 30 日（木） 10：00～17：15
- 開催方法：対面とオンラインのハイブリッド形式
- 開催会場
【本 会 場】新潟大学駅南キャンパス ときめいと
（新潟県新潟市中央区笹口 1-1-1 プラカ 1 2 階）
【サブ会場】伏木富山港湾事務所 （富山県富山市牛島新町 11-3）
金沢港湾・空港整備事務所 （石川県金沢市大野町 4-2-1）
敦賀港湾事務所 （福井県敦賀市松栄町 7-28）
- プログラム：別紙-1 のとおり
- 取材申込み：別紙-2 のとおり

【発表記者クラブ】

専 門 紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

副所長 やました山下 たつみ竜巳

技術開発課長 やました山下 ひろゆき裕之

TEL 025-222-6115

令和7年度 北陸の海と港の技術情報交流会 プログラム

受 付

9:30 ～ 10:00	①受付開始
12:40 ～ 13:10	②受付開始(午後からの参加者を対象)

1. 開 会

10:00 ～ 10:05	開会挨拶	新潟港湾空港技術調査事務所長 千葉 明裕
10:05 ～ 10:10	事務局説明	技術開発課

2. 技術発表

【午前の部】

	発表時間	研究テーマ・技術テーマ	発表者
1	10:10 ～ 10:25	能登半島地震による飯田港東防波堤の被災メカニズムについて	新潟港湾空港技術調査事務所 川瀬 寛己
	10:25 ～ 10:30	質疑応答、入れ替え	
2	10:30 ～ 10:45	富山湾南部での水中ドローンを利用した海底地すべり調査	富山大学 立石 良 准教授
	10:45 ～ 10:50	質疑応答、入れ替え	
3	10:50 ～ 11:05	2024年能登半島地震の津波シミュレーションに基づく富山県の避難行動の提案	富山県立大学大学院 沼澤 蓮音
	11:05 ～ 11:10	質疑応答、入れ替え	
4	11:10 ～ 11:25	港湾施設の地震被害判定のための速度PSI値予測式の検討	福井工業大学 西川 隼人 教授
	11:25 ～ 11:30	質疑応答、入れ替え	
5	11:30 ～ 11:45	海洋生物の住処となるコンクリートの研究 ーフライアッシュ、解体微粉末、高炉スラグ微粉末、銅スラグ微粉末が与える影響ー	福井大学 本間 礼人 講師
	11:45 ～ 11:50	質疑応答	

【午後の部】

	発表時間	研究テーマ・技術テーマ	発表者
6	13:10 ～ 13:25	令和6年能登半島地震によって隆起した鹿磯海岸の調査報告	金沢工業大学 有田 守 准教授
	13:25 ～ 13:30	質疑応答、入れ替え	
7	13:30 ～ 13:45	水中ドローンを活用した岸壁調査工事における効率化の取り組み	東亜建設工業株式会社 藤山 映
	13:45 ～ 13:50	質疑応答、入れ替え	
8	13:50 ～ 14:05	グリーンレーザーを用いたブルーカーボンの解析技術	株式会社エコー 吉田 光寿
	14:05 ～ 14:10	質疑応答、入れ替え	
9	14:10 ～ 14:25	UAV搭載型グリーンレーザーによる藻場分布状況調査について	いであ株式会社 井上 定雄
	14:25 ～ 14:30	質疑応答、入れ替え	
	14:30 ～ 14:40	休憩	
10	14:40 ～ 14:55	ICT基礎工における機械均しの施工履歴データを活用した出来形管理の生産性向上効果	株式会社本間組 安藤 恭平
	14:55 ～ 15:00	質疑応答、入れ替え	
11	15:00 ～ 15:15	遠心脱水機と自走式土質改良機による浚渫土砂の減容化・再資源化技術	若築建設株式会社 水野 健太
	15:15 ～ 15:20	質疑応答、入れ替え	
12	15:20 ～ 15:35	浚渫土砂を有効活用するための新技術(カルシア改質技術の概要と適用状況)	五洋建設株式会社 黒滝 秀平
	15:35 ～ 15:40	質疑応答、入れ替え	
13	15:40 ～ 15:55	プレキャスト護岸嵩上げ工法「かさ上げくん」	ケイコン株式会社 青木 亘
	15:55 ～ 16:00	質疑応答、入れ替え	
	16:00 ～ 16:10	休憩	
14	16:10 ～ 16:25	風況分布を考慮した加越沿岸海域における波・流れの空間分布の推定	金沢大学大学院 直江 柊作
	16:25 ～ 16:30	質疑応答、入れ替え	
15	16:30 ～ 16:45	AIを用いた低波浪時における離岸流発生場所把握の研究	長岡技術科学大学 春木 勇二
	16:45 ～ 16:50	質疑応答、入れ替え	
16	16:50 ～ 17:05	大型風洞装置を用いた植生による波浪減衰効果の実験的研究	新潟大学大学院 佐々木 康佑
	17:05 ～ 17:10	質疑応答、入れ替え	

3. 閉 会

17:10 ～ 17:15	閉会挨拶	一般社団法人日本埋立浚渫協会 北陸支部長 川崎 博之
---------------	------	----------------------------

令和 7 年度 北陸の海と港の技術情報交流会 取材希望について

取材を希望される報道機関は、以下必要事項を記入の上、メール送付をお願いします。

申込先メールアドレス：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp

1. 会社名 _____
2. お名前 _____
3. ご連絡先電話番号 _____
4. ご連絡先メールアドレス _____

申込期限：10月29日（水）13時まで

（取材対応について）

- ・取材会場については、本会場のみとさせていただきます。
- ・取材を希望される方は、当日9時30分～10時00分までに受付を済ませてください。
- ・腕章又はネームプレート（報道関係者と分かるもの）の着用をお願いいたします。
- ・10月29日（水）13時までに、本紙の必要事項をご記入のうえ、メールにてご連絡をお願いします。